

ヤマスベザトウムシ

岡山県：留意

ザトウムシ目

Leiobunum montanum Suzuki

環境省：該当なし

カワザトウムシ科

選定理由

蒜山以東の県北山地のブナ帯以上に生息。染色体数はおそらく奈義町～美作市北部付近を境界に、西では $2n=18$ 、東では $2n=20$ に移行する。

存続を脅かす要因

森林伐採

分布状況

本州（北アルプス、木曾御岳、白山、京都府から鳥取県までの中国山地）、四国。

県内では蒜山～西粟倉村までの中国山地脊梁。

生息情報

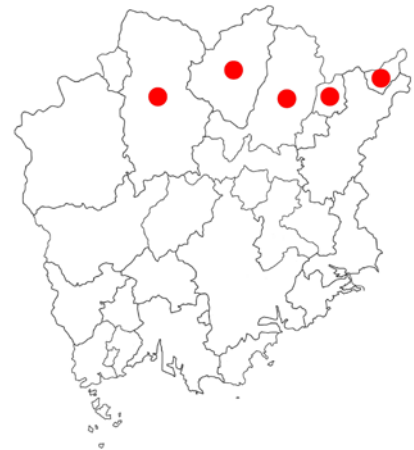
黄橙色の体をもつ体長約 5mm の中型のザトウムシ。おもにブナ帯以上の山地に生息。卵越冬で幼体は 5 月頃に孵化、7 月上旬に成体となり、10 月中旬までブナやスギの樹幹上などに見つかる。雄の交尾器や染色体数に地理的分化が顕著。岡山県側の集団については調査不十分であるが、鳥取県側での調査から、岡山県内でも奈義町付近より西では $2n=18$ 、東では $2n=20$ に変化しているとみられる。

文献番号 143, 145

(鶴崎展巨)



撮影：鶴崎 展巨



ヒライワスベザトウムシ

岡山県：留意

ザトウムシ目

Leiobunum hiraiwai (Sato & Suzuki)

環境省：該当なし

カワザトウムシ科

選定理由

岡山県では毛無山（新庄村）周辺の山地のブナ帯のみに生息。染色体数は $2n=20$ で、広島県比婆山系以西にみられる本種の集団 ($2n=18$) や、鳥取県氷ノ山の集団 ($2n=20$) とは核型が異なり、遺伝的にこの地域に固有の集団となっている。

存続を脅かす要因

森林伐採、産地局限

分布状況

北関東以西の本州、九州北部、対馬（日本固有種）。

県内では、毛無山～三平山付近のみ。

生息情報

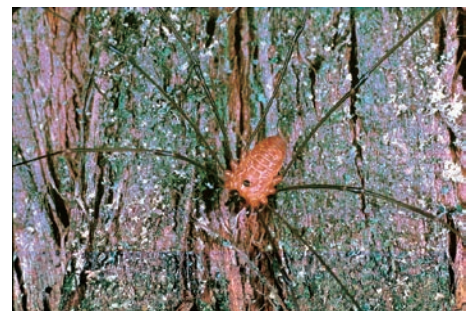
ヤマスベザトウムシと同様、ブナ帯以上の山地に生息し成体は 7 月上旬から 9 月頃にかけてみられる。野外での両者の識別はしばしば困難だが、岡山県内では両者が同所的になる地域は確認されていない。雄の交尾器や染色体数に地理的分化が顕著。岡山県毛無山周辺の集団は外部形態では近畿型に含まれるが、氷ノ山の集団とは核型（染色体数はともに $2n=20$ ）が明瞭に異なる。

特記事項

分布の局限度が高く今後の動向には要注意。

文献番号 147, 151

(鶴崎展巨)



撮影：鶴崎 展巨

